

# フジコ・ヘミング

F u z j k o H e m m i n g

## スペシャルコンサート



### フジコ・ヘミング (ピアノ)

● Fuzjko Hemming

日本人ピアニストの母と、ロシア系スウェーデン人デザイナーの父を両親として、第二次世界大戦直前のベルリンに生まれる。父と別れ、東京で母の手ほどきでピアノを始める。東京藝術大学を経て、28歳でドイツへ留学。ベルリン音楽学校を優秀な成績で卒業。その後演奏家としてキャリアを積み、パースタインなど世界的音楽家からの支持を得るが、大切なリサイタル直前に風邪をこじらせ聴力を失う。失意の中、ストックホルムに移住。ピアノ教師をしながら、欧州各地でコンサート活動を続ける。

1999年には、フジコのピアニストとしての軌跡を描いたNHKのドキュメント番組、ETV特集『フジコ～あるピアニストの軌跡～』が放映され大反響を巻き起こす。「フジコの演奏をもっと聴きたい」という視聴者からの要望が殺到し、番組は幾多に及び再放送され、さらに続編「フジコ、ふたたび～コンサート in 奏楽堂」も放送された。同年に発売されたファーストCD『奇蹟のカンパネラ』は200万枚を超える売り上げという、クラシック界異例の大ヒットを記録し、いまだにその記録を更新し続けている。その稀有な半生がフジTV系列で菅野美穂主演でドラマ化される。高視聴率を獲得し人気を不動のものにした。

これまで2枚のCDで日本ゴールドディスク大賞、4度にわたる各賞のクラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞。世界各国の公演に出演し続け、その名声を海外に広げている。



### ヴァスコ・ヴァッシレフ (ヴァイオリン)

● Vasko Vassilev

1970年ブルガリア生まれ。コヴェントガーデン・ロイヤル・オペラ・ハウスの第一ソロコンサートマスターとして活躍。10歳でブルガリア政府よりモスクワ中央音楽院に派遣され、1987年パリ“ロン＝ティボー国際コンクール”優勝、“カール・フレッシュ国際コンクール”や“パガニーニ国際コンクール”受賞後、23歳史上最年少でロイヤル・オペラ・ハウス第一ソロコンサートマスターに就任。指揮者としてロイヤル・アルバート・ホールでイギリス・デビューを果たし、祖国ブルガリアではブルガリア国立放送交響楽団指揮者としてツアーやレコーディングも行い、コンサートでは約3万人もの観客を動員するなど圧倒的な人気を誇っている。現在は、ロイヤル・オペラ・ハウスのクリエイティブ・プロデューサー、英国王立音楽大学客員教授としても活動する一方、クラシックの枠を超え、ザ・ローリング・ストーンズのロン・ウッド、スティングなどクラシック以外のジャンルのミュージシャンとの共演も成功させ、クラシックとポップスを融合させた新しいジャンルのアーティストとして活躍している。

入場券ご購入にあたり、次のことをあらかじめご承知おき下さい。 ①やむを得ない事情で出演者、曲目が変更になる場合がございます。 ②お買い求めいただきましたチケットのキャンセル・変更はできません。 ③開演時間に遅れた場合、休憩までご入場をお待ちいただくか、指定場所でのお立ち見となる場合がございます。余裕を持ってご来場ください。 ④場内での写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。 ⑤ネットオークションなどによるチケット販売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。

感染症対策にご協力ください。 ①マスクの着用をお願いします。 ②37.5度以上の発熱がある場合は、ご入場をお控えください。 ③出演者への面会、花束等のご遠慮ください。